

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	高流動コンクリート研究小委員会	主 査 名：梶田佳寛 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：橋高義典
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>高流動コンクリートの材料・調合・製造・施工指針 (1997) の改定のために必要な最新の調査・研究に関する情報収集と JASS 5 や関連指針ならびにその他の技術基準類との調整を行い、指針改定を行う。</p> <p>初年度：</p> <p>(1) 高流動コンクリート等に関する最新の調査・研究に関する情報収集</p> <p>(2) フレッシュ性状に関する国内・海外の評価試験方法と基規準の調査</p> <p>(3) JASS 5、関連指針、その他技術基準類との調整を行う等、作業内容と改定の基本方針の検討</p> <p>(4) 2016 年度建築学会大会 (九州) において、会員から広く意見を徴集するために、研究協議会 (高流動コンクリートの活用に関する課題と展望－高流動指針の改定に向けて－) の実施</p> <p>2 年度：上記 (1)、(2)、(3) の継続</p> <p>3 年度：指針作成 (本文・解説の検討)</p> <p>4 年度：指針刊行と講習会の実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：現在のところ、なし	
	梶田佳寛 (主査：建築研究振興協会)、橋高義典 (幹事：首都大)、鹿毛忠継 (幹事：国総研)、大岡督尚 (東急建設)、小泉信一 (BASF ジャパン)、鈴木澄江 (建材試)、寺西浩司 (名城大)、西祐宜 (フローリック)、野口貴文 (東大)、依田和久 (鹿島建設)、陣内浩 (大成建設)、小島正朗 (竹中工務店)、中島忠大 (清水建設)、神代泰道 (大林組)、宮野和樹 (前田建設) 計 15 名	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	研究協議会「高流動コンクリートの活用に関する課題と展望－高流動指針の改定に向けて－」
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初目標を十分に達成できた。なお、大会研究集会での参加人数が、予想外に少なかった事は反省点である。
委員会活動の問題点・課題	作業の基本方針が確定した後、WG の設置も検討したい

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。